

輸送動向について(11月分)

平成17年12月

1. 輸送概況

今月は、下旬に北海道・函館本線で保守用車と旅客列車が衝突した事故の影響により高速貨2本が運休したものの、月全体では概ね順調な輸送状況であった。

荷動きについては、下旬に発送が強勢となり、30日には、フェリーの日本海航路の欠航もあって、コンテナ発送個数で本年度の最高(12f換算個数、17,623個)を記録したが、月全体ではやや弱含みで推移した。なお、昨年10月に発生した新潟県中越地震による輸送障害の影響もあり、輸送量全体では前年比105.6%となった。

コンテナ貨物では、一部顧客の船舶から鉄道へのシフトにより増送となった紙パルプ等をはじめ、北海道地区を中心に飼料米及び民間流通米が好調であった農産品並びに順調な出荷が続く自動車部品など、化学工業品を除く全ての品目で前年を上回り、前年比107.3%となった。

車扱貨物では、中旬以降寒さが増したため、出荷が旺盛となった石油が前年を上回ったほか、輸送障害のため昨年、大幅に減送となった化学工業品が前年を上回り、前年比103.0%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,989	1,854	107.3%	14,925	14,701	101.5%
車扱	1,272	1,235	103.0%	8,948	9,054	98.8%
計	3,261	3,089	105.6%	23,873	23,755	100.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	108	90	18	120.0%
	生野菜青果物	118	105	13	112.4%
	化学工業品	184	185	-1	99.5%
	化学薬品	156	144	12	108.3%
	食料工業品	293	282	11	103.9%
	紙パルプ等	312	282	30	110.6%
	他工業品	135	128	7	105.5%
	積合せ貨物等	224	216	8	103.7%
	自動車部品	55	45	10	122.2%
	エコ関連物資	43	36	7	119.4%
	その他	361	341	20	105.9%
コンテナ計	1,989	1,854	135	107.3%	
車扱	石油	811	788	23	102.9%
	セメント	105	109	-3	96.4%
	石灰石	52	60	-8	86.4%
	車両	142	135	7	105.5%
	紙・パルプ	41	39	2	105.9%
	化学工業品	54	39	15	137.5%
	その他	66	65	1	100.4%
車扱計	1,272	1,235	37	103.0%	
合計	3,261	3,089	172	105.6%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)